

2023 年 10 月 28 日 (土) 午後 2 時—4 時

演奏：アレクサンドロ・カントロフ (フランス出身/26 歳)

① シューベルト：幻想曲 ハ長調 D760「さすらい人」

フランツ・シューベルトが 1822 年、25 歳の時に作曲したピアノ独奏曲。

シューベルトのピアノ作品としては高度の演奏技術を要する作品で、シューベルト自身がうまく弾けず、苛立ちのあまり「こんな曲は悪魔にでも弾かせてしまえ」と言ったという逸話もある。

みすず書房 461 頁下段

「薄暗い片隅の壁に寄りかかり、緑の木の葉と花々の陰から、フィロメールの歌っている美しい声を聴いていた。悲歌的で熱のこもっているその声は、シューベルトの「菩提樹」を歌っていた。そしてこの純粋な音楽が、クリストフの心に、かすかすの思い出のもの悲しい気持ちをたちのぼらせた。」

② ブラームス：ピアノソナタ第 1 番

このソナタの初演および出版により、ブラームスは作曲家としての第一歩を踏み出した。古典音楽の教養を備えた独創的な新時代の作曲家を待望していたシューマンにとって、この作品とブラームスはまさに神の啓示のようなものであった。シューマンはブラームスが訪問した後、すぐに雑誌『新音楽時報』に「新しい道」という記事を書き、ブラームスを称賛している。

彼はほんとうに驚くべき世界をあらわにしました。

... そこには変装した交響曲のようなソナタがあった。ロベルト・シューマン

全 4 楽章、演奏時間は約 32 分[1]。本作はベートーヴェンのピアノソナタ、特に第 21 番『ヴァルトシュタイン』と第 29 番『ハンマークラヴィーア』の影響下にある。

みすず書房 472 頁下段

「ブラームス作曲の歌を一つ歌って聴かせようか？」

「ブラームス？」とオリヴィエが言った。「君は今では君の敵の音楽をも弾くのかい？」

「今日は諸聖人祝日だよ」とクリストフが言う。「あらゆる人のための赦しの日だ」